

# 船輪



第122号  
2010年 7月発行

## 船輪は(財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

### お知らせ(平成22年度の事業実施について)

予算削減の影響により、平成22年度冬季は海王丸は完全非公開といたします。(12月1日~3月11日)伴いまして12月の「餅つき大会」、1月の「鏡開き大会」及び2月の「進水記念イベント」は中止とさせていただきます。同様に「写真コンテスト」も実施せず(したがって、カレンダー発行中止)、海王丸パークでのイベント等も昨年までより縮小いたします。

詳細は財団HP等でご確認ください。

### 着任の挨拶

常務理事 高島 良一



4月1日付けで伏木富山港・海王丸財団へ参りました高島です。よろしくお願いいたします。南砺市福野の住人で、片道約50分かけて車通勤しています。3月下旬に引き継ぎのため海王丸パークへ来て、先ず、白く眩いくらいに輝く海王丸の姿に目を見張りました。県内に住んでいても、なかなかこちらの方へ来る機会はないもので、海王丸パークへは、私の子供たちが小・中学生時代に一緒に訪れて以来ですから、実に十数年ぶりの海王丸との再会でした。当時の印象と変わらず、いやそれ以上に美しく手入れされている帆船に、歴代の船長や海事課員の努力の跡と日頃の仕事ぶりを見て、身体を賭して船を守ろうという船乗りの魂を感じました。そして、ボランティアの皆さんに寄って立つ総帆展帆です。展帆から畳帆までの作業の過程での、ボランティアの皆さんの元気な掛け声とその奮闘ぶりに熱いものを感じるとともに、海の貴婦人と言われる海王丸の優美な姿に改めて感動したところです。また昨年からは富山高専の海王丸ボランティア同好会の学生さんも参加してくれており、頼もしい限りです。

今年は、海王丸建造80年、富山での一般公開20年という記念すべき年で、秋には二代目海王丸も寄港します。また、平成24年度には建設中の新湊大橋の開通も予定され、立山連峰をバックにした海王丸の素晴らしい姿に加え、新たなロケーションが誕生するのも楽しみです。今後とも、ボランティアの皆さんのご協力をいただきながら、海王丸の保存活用に一生懸命

努めてまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。



海事課長 須賀 達彦

このたび4月1日付けで海事課長・海王丸一等航海士を拝命しました須賀達彦(すが たつひこ)です。平成14年4月から平成16年3月までこちらでお世話になりました。今回が6年振り2回目の勤務となります。前任者同様よろしくお願いいたします。

海王丸パークと立山連峰をはじめとする富山県の変わらぬ美しさや食の美味しさ感激しておりますが、海王丸については水面下の見えない部分で確実に船体の浸食が進んでおり、外板の厚みや船体強度を保つための改修工事が必要な時期に来ています。世界的に不況と言われる中での予算請求や実際の工事を考えると、使命の重さに押し潰されそうになりますが、非常にやりがいのある時期に来させていただいたと思っております。財団や県・市職員、またボランティアの皆さまのお力を借り、海王丸と県民や市民の皆さまに恩返ししたいと考えております。趣味であるディズニーの知識を活かし、これからますます皆様に愛される海王丸パークとなるよう頑張っていきますので、応援よろしくお願いいたします。食べ歩きも趣味なので美味しい食べ物の情報があったら教えてください。



業務技師 小網 洋志則

加藤さんの後任の小網と申します。どうぞよろしくお願いいたします。出身は能登で羽咋郡から来ました。

私が航海訓練所に就職して3年後に、この海王丸は引退しましたので、乗船したことはありませんでした。先日初めて船内を見学して80年間の長い歴史を実感しました。

富山県や射水市の人達が、この歴史ある海王丸を大切に守っていることに感服いたします。これからはそ

の一員として自分なりにメンテナンスに協力できればと考えています。

近くから来ていますので、富山の訛りには何の違和感もありません。食べ物は富山にしかない物がたくさんあるのでとても楽しみにしています。

慣れるまでご迷惑をお掛けすると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。



海事課技術員 月野木 浩司

早朝の北陸道を走行中、突然目の前に、まだ山肌に多くの雪を抱く雄大な剣・立山の山々を目にしたとき、それまで久々の長距離運転に加え、少し眠気を感じていましたが、いっぺんに疲れも眠気も吹っ飛び、「富山に来た！」と実感しました。着任後、業務が終わると一緒に着任した増井さんと、生活道具を一から揃えるのに奔走する毎日で、本格的に新生活をスタートすることがなかなか出来ずにいますが、慣れない陸上での生活に気を取られて業務がおろそかになることのないよう微力ではありますが、勝手知ったる仲間と共に**一致団結**して参ります。



海事課技術員 増井 友貴

初めまして、4月1日付けで伏木富山港・海王丸財団に配属になりました、増井 友貴です。生まれも育ちも静岡県で、ほとんど雪も降らず、気温も氷点下になることが少ないので、寒さの厳しさも知らずに、初めての一人暮らしを迎えます。まだ始まったばかりですが、富山県で生活をしていき、いろいろな経験をし、仕事面ではもちろん、生活面でも慣れるように勉強していきたいと思えます。

最後になりましたが、初めての財団勤務でいろいろとご迷惑をかけますが、頑張りますので皆様どうぞよろしく願いいたします。

## 4月～7月の行事結果

### 船体塗装工事

4月5日から16日までの間、船体と係留鎖の塗装工事が行われました。業者はいかだを組み、うまく操作しながら船体外板を塗装していました。塗装後は真っ白な船体と、輝く“海王丸”の船名。また新たな船出にふさわしい姿となりました。



### ボランティア宿泊研修

4月17日、18日にボランティア宿泊研修を行いました。39名の方々が参加され、今年一年間の安全作業のため再訓練をしました。また富山高専商船学科1年生1名のボランティア養成訓練も行われました。

### 総帆展帆、

#### 総帆展帆

4月25日は、晴天に恵まれ総帆を展帆することができました。今年度の第1回目であり、多くのボランティアの皆さん、そして新規ボランティア5名の参加により素晴らしい展帆となりました。立山連峰もくっきりと見ることができ、多くの方が、総帆の海王丸と立山の競演にカメラを向けていました。



天候 晴 参加人数 77名  
展帆状態 総帆 ポートタック3ポイント

#### 総帆展帆

5月4日、晴天でしたが、強い西風が吹いていたため一部のセイルのみの展帆としました。途中ボランティア1名が体調不良のため、作業を中断しましたが12時頃には作業を終了しました。ゴールデンウィーク中ということもあり、多くの方が見学し、また乗船されました。豊帆開始を30分早め15時30分にはすべての作業が終わりました。

天候 晴 参加人数 77名  
展帆状態 各マストロイヤル、アップ・ゲル、コース及びガフトップスルを除く総帆 ポートタックシャープアップ

## 総帆展帆

6月6日(日)晴天と好風に恵まれ総帆を展帆しました。作業開始時でのボランティア参加者数が十分ではなかったため、アッパートップスルについては、フォア、メインを先に展帆し、その後ミズンを開きました。各マストが助け合って無事作業を終え、美しい貴婦人に仕上げることができました。



天候 晴 参加人数 70名  
展帆状態 総帆 スタート・タック3ポイント

## 新ボランティア紹介!

7月までに次の方々仲間に加わりました。どうぞよろしくお願いいたします。

色部	春男(いろべ	はるお)さん
駒津	宣丈(こまつ	のりたけ)さん
鈴木	完司(すずき	かんじ)さん
田中	信之(たなか	のぶゆき)さん
小関	修司(おぜき	しゅうじ)さん
越場	高広(こしば	たかひろ)さん
大塚	佳世(おおつか	かよ)さん
小川	梨沙(おがわ	りさ)さん
水口	里香(みずぐち	りか)さん
堀田	紗永(ほりた	さえ)さん

は富山高等専門学校生

## 富山高専との合同実習訓練

毎年実施している富山高専国際流通学科4年生28名の海王丸実習が4月から5月にかけて行われました。天候に恵まれず1、2回目は雨。3回目にマスト登りを行いました。回を追うごとに目の輝きが変わりました。中から4名がボランティアに登録されました。

## 7月~10月の行事予定

### 総帆展帆

日時: 7月19日(祝)  
8月1日(日)  
8月22日(日)

9月5日(日)

9月19日(日)

午前10時~(受付は9時から)

場所: 更衣 日本海交流センター

集合 海王丸第一教室

## 登櫓礼

今年も海の日(7月19日)を記念して、帆船の最高儀礼である登櫓礼(とうしょうらい)の実施を予定しています。海の日を盛大にお祝いするために、多くのみなさんの参加をお願いします。

なお、登櫓礼の立付(練習)を次の日程で行います。立付に参加された方で実施予定です。

### 登櫓礼立付

日時: 7月4日(日)13:00~

集合場所: 海王丸第一教室

## パークフェスティバル

海の日にちなみ、海や船に親んでもらうイベント、パークフェスティバルを開催します。

期間: 7月17日(土)~19日(祝)

詳細は当財団HPをご覧ください。

## 夜間公開(新湊まつり)

新湊花火大会が行われる8月8日(日)海王丸の夜間公開(最上甲板のみ)を行います。海の貴婦人から夜空に広がる光のアートをご覧ください。

夜間公開: 8月8日(日) 18:00~21:00

## 秋のファミリーフェスティバル

ファミリーフェスティバルを開催します。

期間: 9月18日(土)~20日(祝)

内容: ミニ展帆(9/18)

総帆展帆(9/19)

カッター・セイリング教室(9/20)

## 航海訓練所練習船「青雲丸」寄港

独立行政法人航海訓練所の練習船青雲丸が、次の日程で寄港します。

熊田キャプテン、阿部チョッサーをはじめ元財団職員が多く乗船しています。是非、遊びにいらしてください。

寄港期間: 7月30日(金)~8月4日(水)

場所: 富山新港新湊地区海王岸壁



## ボランティア投稿

スーパーセラーズマットの設計

ボランティア No471 渡辺 博英

2009年7月発行の舵輪第118号でセラーズマットの作製について報告しました。作製したマットの美しい幾何学模様を眺めていると、ある法則があるように見え、その法則がわかればもっと長く、輪の数の多いマットでも作製ができるのではないかと思い、輪の数が10個のセラーズマットより2個多い「スーパーセラーズマット」の設計に挑戦してみました。

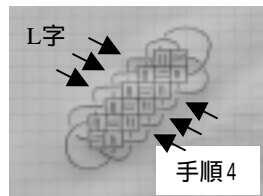
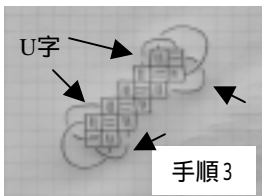
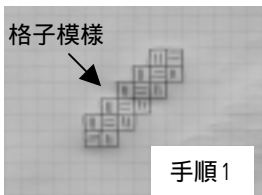
試行錯誤を重ねた結果、これらのマットは基本的に4つのパーツ（格子模様、C字、U字、L字）から成り立っていることがわかりました。設計手順は以下の通りになります。

手順1．格子模様を描く

手順2．両端部にC字の輪を描く

手順3．両端部わきにU字の輪を描く

手順4．残りの部分にL字の輪を描く



ポイントですが、C/U/L字は格子模様になめらかにつながる部分付近に切れ目を入れて、マットが「下から上に」あがってくるように描くことです（手順2の部分参照）。描き終わったら、ロープに沿ってなぞってみて、全ての輪を通るか確認する必要があります。

上図を実際になぞられた方はわかると思いますが、輪の数が12個のマットを1本のロープで編むことはできないようです（全ての輪を通りません）。他にも18個、24個といった「3の倍数」の輪の数の持つマットを編むことはできないようです。これはマットの基本が「三つあみ」であることが原因かもしれません。

以上のようにマットの設計方法がわかったので、実際に作製してみました。輪の数は14個の「スーパー

セラーズマット」です（写真上部。下部は輪の数10個のセラーズマット）。



今回は細いロープで輪の数14個の「スーパーセラーズマット」を、太いロープで通常のセラーズマットを編んでみました。作製時間ですが細いロープの方は約5時間、太いロープの方は約2時間くらいでした。作製時間はロープの長さに大きく影響されるようで、同じ面積のマットを編むなら太くて短いロープの方が作製時間は短くなるようです。また、太いロープの方が編みあがった時の迫力が大きいようです。

マットの作製は根気さえあれば誰にでもできる作業だと思います。今回の設計方法を参考に、世界にひとつだけのオリジナルマットの作製に挑戦していただければ幸いです。「そんなマット編んでどうするの？」と家族や知人に言われるかもしれませんが、ロマンですよ？

## 編集後記

季節は夏、日に日に気温が上がってきました。この時期、少なくとも一週間に一度は海洋教室が入っており、海王丸に泊まり、そして夕食にカレーを食べる機会も増えております。海洋教室は子供たちに1泊2日でマスト登りやカッター訓練、手旗信号、結索実習、ボンクメイク、巡検、椰子摺りなどを体験させますが、何より集団生活における規律や協調性の大事さを伝える場でもあります。一人一人違う個性を持つ子供たちをどう指導していくか、2年目になっても悩み続けています。教育とは難しいものだと思ながら感じる今日この頃です。

須賀海事課長に長男（大地くん）が、そして新ヶ江技術員に次男（莉玖くん）がそれぞれ誕生されました。おめでとうございます！（も）

舵輪 第122号  
発行日 2010年 7月  
E-mail  
by-the-wind@  
kaiwomaru.jp

(財)伏木富山港・海王丸財団  
〒934 0023 富山県射水市海王町8番地  
TEL 0766-82-5181  
FAX 0766-82-5197  
URL <http://www.kaiwomaru.jp>